

海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間 : 2019/08/06 ~2019/09/04)

1. 勉学の状況

本 Semester で私は計 4 つの授業を受講する予定ですが、現時点ではそのうち 3 つの授業が始まっています。ここではその 3 つの授業について書いていきます。

① History of Education

その名の通り、(主にヨーロッパの) 教育の歴史を学ぶ授業です。授業形態は先生が授業を行うレクチャースタイルと学生のみで議論を行うディスカッションスタイルの 2 つに分かれています。ヨーロッパの教育史は、ヨーロッパ内の国同士の関係性や宗教、経済等さまざまな要因から形成されており、当たり前のことですが日本の教育史とは全く異なるため、多くのことを学んでいます。ただ、授業のスピードが早く 9 月にはファイナルレポートもあるため、何とか振り落とされないようより一層自学にも努めていきたいです。

② International Course in Drama Communication A

主にコミュニケーションについて心理学的な観点から学ぶ授業です。主な授業内容は、座学というよりも学生同士でさまざまなエクササイズを実践していき交流を深めるような活動が多く、楽しいです。紙を一切見ずにお互いの似顔絵を描くアクティビティや、目隠しをして声だけでパートナーを探すゲーム等さまざまなエクササイズがあり、すぐに他の留学生の人たちとも仲良くなれました。しかしもちろんそういった活動にも意味や目的がしっかりあるため、そういったことを考察していきながらもしっかりこれからも授業に意欲的に参加していきつもりです。

③ Nordic Culture

スウェーデン含む北欧の文化について学ぶ授業です。授業は主に座学によるレクチャースタイルですが、9 月と 11 月にそれぞれ数日間の泊まりを伴う遠征合宿のようなものがあるのがこの授業の特徴で、それが楽しみです。まだ始まったばかりですが、北欧でしか体験できない文化をたくさん吸収していきたいです。

上記 3 つの授業に加え、来週からはスウェーデン語の授業も始まるので楽しみです。一方で、上記 3 つの授業すべて、毎週何らかの宿題が課され、さらにその量もとても多いため、最近ではほぼ毎日授業外の時間は図書館に籠ってひたすら宿題と向き合うという生活が続いています…。早くもっと効率よく宿題をこなせるようになりたいと強く思います。

2. 生活の状況

私は8月6日に日本を発ちリンショーピンに着きましたが、一番最初のオリエンテーションが始まるまでに約1週間以上の猶予があったので、主にリンショーピン探索や友達作りに励んでいました。リンショーピン内はバスが通っており大学やダウンタウンまではバスで楽に行けますが、日本のように時間通りにきっちりバスが来る確率はとても高いとは言えず、加えて毎回お金がかかってしまいます。そのため私はリンショーピンに着いた3日後にさっそく中古の自転車を購入しました。ちなみに後々の大学のオリエンテーションでも「リンショーピンで暮らすにはまず自転車を」と言われるくらいにリンショーピンでは自転車が重要です。自転車があれば大学までは5分程で、ダウンタウンにも10分程で行けてしまうのでとても便利です。

寮と大学のすぐ周りには森があり、多くの人がランニングやサイクリングを楽しんでいます。また、野生のリスやウサギ、ハリネズミ等もよく見られるくらいに自然が豊かです。一方で、森からほど遠くない場所に大きなショッピングモールや商店がたくさんあるダウンタウンがあり、よくフェスティバルのようなイベントも開かれています。このように自然と文明を同時に楽しめる環境が寮と大学のすぐ近くにあるというのはとても嬉しいです。

また、その約1週間以上の猶予の間にリンショーピン大学の学生団体が開くさまざまな留学生交流イベントにできるだけ多く参加したため、一緒に夕飯を作って食べたりお買い物に行ったりフェスティバルに参加する留学生の友達もできました。8月半ばごろからは授業が始まり急激に忙しくなりましたが、それでもそういった友達との交流をより深めていき、勉学と両立していきたいです。ちなみに、授業が始まりはしたものの、火災報知器が作動して急遽学生全員帰宅させられたり、大学に脅迫状のようなものが届き（結局はイタズラでしたが）急遽キャンパスが封鎖されたり、先生がディスカッションのために予約していた部屋がダブルブッキングで急遽使えなくなったりと、ハプニングがよく起こったりもしています。



中古の自転車とダウンタウン近くの街並み



スウェーデン伝統のゲームの体験イベント